

所属名	事務事業名	ページ番号
社会教育課	社会教育助成事業	2
社会教育課	星空学習館管理運営事業	3
社会教育課	佐野常民記念館管理運営事業	4
社会教育課	佐野常民記念館展示設備改修事業	5
社会教育課	青少年センター管理運営事業	6
社会教育課	家庭教育講座開催事業	7
社会教育課	放課後子ども教室推進事業	8
社会教育課	地域学校協働活動推進事業	9
社会教育課	久米島町中学生交流事業	10
社会教育課	市民総参加子ども育成運動経費	11
社会教育課	青少年向け短期講座開催事業	12
社会教育課	金立教育キャンプ場事業	13
社会教育課	非行防止対策事業	14
社会教育課	子ども・若者支援事業	15
社会教育課	佐賀市成人式	16

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	社会教育助成事業	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	社会教育課 総務企画係	担当課長名	馬郡 裕子
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	26自ら学ぶ生涯学習の推進	
	基本事業	多様な学習機会の提供	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	社会教育分野の振興を図るため、社会教育関係団体が実施する社会教育、青少年健全育成に関する事業に要する経費に対して補助を行い、その活動を支援する。				
事業の対象者	社会教育関係団体及びその活動に参加する市民				
令和2年度主な活動実績	8団体へ補助金を交付した。 (佐賀市地域婦人連絡協議会、佐賀市PTA協議会、佐賀市私立幼稚園・認定子ども園PTA連合会、佐野常民顕彰会、佐賀市子ども会連絡協議会、佐賀市スカウト運動推進連絡会議、佐賀市青少年健全育成連合会、佐賀子ども劇場)				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	4,420				
うち佐賀市の負担額	4,420				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
地域の子は子どもたちの教育に自主的にかかわっていると思う人の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
55.5	60	60	60	60		

成果指標②						単位
生涯学習を行っている人の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
28.4	30	30	30	30		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
補助金を交付している各団体が抱える課題及び問題点等の解決を図るため、社会教育委員との意見交換の場を提供することで、各団体の活動の推進を支援していく。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	星空学習館管理運営事業	事業期間	平成 28 ~ 年度
担当部署・係名	社会教育課 総務企画係	担当課長名	馬郡 裕子
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	26自ら学ぶ生涯学習の推進	
	基本事業	生涯学習施設の整備・運営	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	天体・科学に関する学習を推進することにより、生涯学習の振興を図る。				
事業の対象者	佐賀市民				
令和2年度 主な活動実績	・施設の貸館 (1,853団体 14,342人) ・天体・科学に関する事業の開催 季節ごとのイベントの実施 26回、1,290人 観望会 128回、1,361人 出前講座等 10件、915人				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	16,180				
うち佐賀市の負担額	15,845				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
延利用者数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
14,342	21,000	21,000	21,000	21,000	

成果指標②					単位
利用者の満足度					%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
100	100	100	100	100	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
チラシ製作やSNS等の情報発信による広報活動を充実させ、新型コロナウイルス感染症の感染予防を徹底しながら、各事業を実施する。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

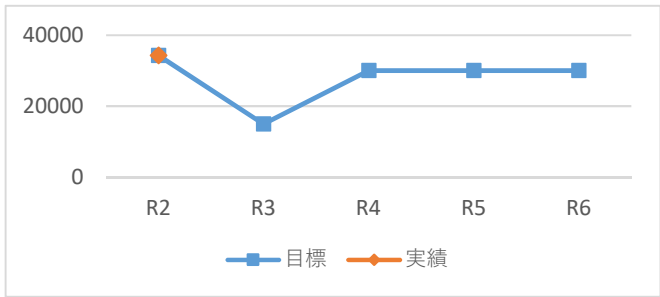
事務事業名	佐野常民記念館管理運営事業	事業期間	平成 16 ~ 令和 3 年度
担当部署・係名	社会教育課 総務企画係	担当課長名	馬郡 裕子
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	26自ら学ぶ生涯学習の推進	
	基本事業	生涯学習施設の整備・運営	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐野常民記念館をリニューアルし新たに「佐野常民と三重津海軍所跡の歴史館」として、展示内容も充実し、日本赤十字社の創設者佐野常民の業績と世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の構成資産「三重津海軍所」跡を紹介する。また、各種講座を開催し、佐野常民の博愛の精神と三重津海軍所について認識を広めていく。				
事業の対象者	佐野常民記念館利用者				
令和2年度主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・開館日数 217日 ・佐野常民記念館展示室観覧者数 3,836人 ・体験学習開催回数 43回 441人 ・企画展示「戦争と戦時救護～未来につなぐ博愛の心～」(令和2年8月1日～12月20日) 				
決算の推移(単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	16,049				
うち佐賀市の負担額	15,551				

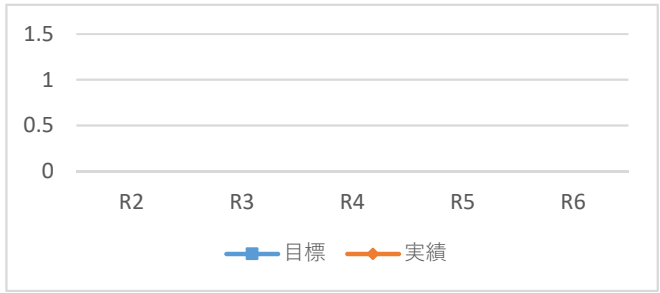
2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
来館者数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
34,243	15,000	30,000	30,000	30,000	



年度	目標	実績
R2	-	34,243
R3	15,000	15,000
R4	30,000	-
R5	30,000	-
R6	30,000	-

成果指標②					単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	



年度	目標	実績
R2	-	-
R3	-	-
R4	-	-
R5	-	-
R6	-	-

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
リニューアルにより、館の展示内容が拡張された。来館者に喜ばれる案内につとめるとともに、来館者が人に紹介したくなる施設となるように企画展や体験学習が充実するよう取り組んでいく。

令和3年度 公共事業進捗報告シート

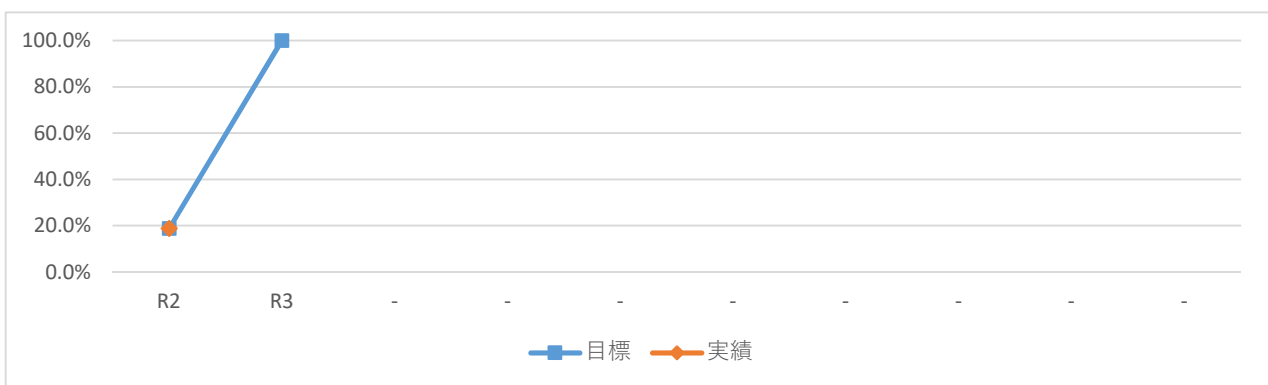
公共事業名	佐野常民記念館展示設備改修事業	事業期間	令和 2 ~ 令和 3 年度
担当部署・係名	社会教育課 総務企画係	担当課長名	馬郡 裕子
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	26自ら学ぶ生涯学習の推進	
	基本事業	生涯学習施設の整備・運営	

1 公共事業の基本情報

整備概要	佐野常民記念館のリニューアル工事に伴い、展示設備の改修する。 【改修内容】 ・年表およびシアターの改修 ・赤十字コーナーの拡充整備 【改修面積】 佐野常民展示室 942.2㎡				
整備の目的	佐野常民に係る展示内容の充実をはかり、その業績を広く理解してもらう。				
事業費決算（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	2年度	3年度	年度	年度	年度
工事請負費					
測量・監理等委託料	22,550				
用地購入費					
補償費					
その他事務費等					
計	22,550				
うち佐賀市の負担	2,350				
区分	年度	年度	年度	年度	合計
工事請負費					
測量・監理等委託料					22,550
用地購入費					
補償費					
その他事務費等					
計					22,550
うち佐賀市の負担					2,350

2 事業の進捗率

R2	目標 実績	R3	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績
	18.7% 18.7%	100.0%								



令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	青少年センター管理運営事業	事業期間	昭和 47 ~ 年度
担当部署・係名	社会教育課 総務企画係	担当課長名	馬郡 裕子
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	25家庭・地域・企業等の教育力の向上	
	基本事業	子ども・若者の健全育成	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	青少年センターにおいて、青少年等に活動の場を提供し、健全な青少年を育成する。				
事業の対象者	佐賀市民、在学青少年				
令和2年度 主な活動実績	・青少年センターの貸館（年間338日） 多目的室、和室、音楽室、音楽練習室（1, 2）、調理室、会議室（大、中、小）、 個別学習室、フリースペース				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	19,309				
うち佐賀市の 負担額	18,506				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
施設利用者数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
72,302	90,000	90,000	90,000	90,000	

成果指標②					単位
在学青少年利用者数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
60,448	75,000	75,000	75,000	75,000	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
手指消毒や室内換気等の新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を徹底し、安全な貸館を実施する。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	家庭教育講座開催事業	事業期間	平成 16 ~ 年度
担当部署・係名	社会教育課 子どもへのまなざし運動・若者支援推進室	担当課長名	馬郡 裕子
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	25家庭・地域・企業等の教育力の向上	
	基本事業	「子どもへのまなざし運動」の推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	より多くの保護者に、教育の原点である家庭であるべきしつけ等に関心をもってもらい、市全体での家庭教育力の向上を図ることを目的として実施する。 ①「新入学説明会を活用した家庭教育講座」：市立小中学校（附属含む）においての新入学説明会の際に講師を派遣し、家庭教育講座を開催する。 ②「家庭教育講座講師派遣事業」：家庭教育に関心を持ってもらう機会を拡充するために、佐賀市内全域の希望する団体（保育園や各PTA）において講師の派遣を行い、家庭教育講座を開催する。				
事業の対象者	保護者、市内の小中学校（附属含む）、市民				
令和2年度主な活動実績	「新入学説明会を活用した家庭教育講座」、「家庭教育講座講師派遣事業」を実施				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	499				
うち佐賀市の負担額	499				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
家庭教育の大切さを認識した人の割合						%
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R3 実績	
97	100	100	100	100		

成果指標②						単位
家庭教育講座を開催した学校数						校
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R3 実績	
21	55	55	55	55		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で開催中止となるケースが生じた。学校に新型コロナウイルス感染症対策の徹底についての協力を依頼し、講座開催機会の維持及び増加を図る。また、新たな分野の講師を発見し講師陣を多様化することで、講座内容の充実を図る。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	放課後子ども教室推進事業	事業期間	平成 16 ~ 年度
担当部署・係名	社会教育課 子どもへのまなざし運動・若者支援推進室	担当課長名	馬郡 裕子
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	25家庭・地域・企業等の教育力の向上	
	基本事業	子ども・若者の健全育成	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	放課後や週末等において、子どもたちの安全・安心な活動場所を確保し、地域の人材の協力を得て、学習やスポーツ・文化芸術活動、地域との交流活動など様々な活動を実施することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。				
事業の対象者	小・中学生、20歳以上の市民				
令和2年度主な活動実績	校区の「地域子ども教室推進事業実施協議会」に委託して事業を実施する。また、「地域学校協働活動推進員」を配置（委嘱）し、地域住民等と学校の連絡協力体制の整備や普及啓発等を行う。 平成2年度実施校区 6校区（嘉瀬、北川副、新栄、日新、兵庫、若楠） 平成3年度実施校区 7校区（嘉瀬、北川副、新栄、日新、兵庫、若楠、松梅）				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	420				
うち佐賀市の負担額	172				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
子どもの参加者数（延）					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
499	4,970	4,950	4,950	4,950	

成果指標②					単位
大人（ボランティア）の参加者数（延）					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
131	1,129	1,100	1,100	1,100	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
新型コロナウイルス感染症予防を踏まえた教室開催ができるよう、国が示す感染症対応策等の情報提供を行うなど、教室実施の継続を支援する。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	地域学校協働活動推進事業		事業期間	令和 2 ~	年度
担当部署・係名	社会教育課 子どもへのまなざし運動・若者支援推進室		担当課長名	馬郡 裕子	
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち			
	施策	25家庭・地域・企業等の教育力の向上			
	基本事業	子ども・若者の健全育成			

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	学校・家庭・地域が連携協力し、地域住民等による学校の環境整備や登下校の見守り、授業支援等、教育支援活動を行うことで、子どもたちの地域への愛着心を育んだり、コミュニケーション力や学力の向上を図るとともに、子どもたちが地域全体で見守られ、安心して健やかに育まれる環境づくりを推進する。				
事業の対象者	佐賀市民				
令和2年度主な活動実績	校区の「地域学校協働本部」に委託して事業を実施する。また、地域と学校の連絡調整の役割を担う「地域学校協働活動推進員」を配置（委嘱）する。 令和2年度実施校＝3校（小中一貫校富士校、北川副小）、委託＝2校区 令和3年度実施校＝6校（小中一貫校富士校、北川副小、小中一貫校松梅校、若楠小）、委託＝4校区				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	255				
うち佐賀市の負担額	85				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
地域の方は、子どもたちの教育に自主的に関わっていると思う割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
55.5	62.2	62.4	62.5	62.8		

成果指標②						単位
地域は、子どもたちに「地域の一人」として活動する場を作り出していると思う割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
46	61.1	61.2	61.3	61.5		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）と一体的に実施することを目指し、コミュニティ・スクール担当部署との連携を図りながら実施校の拡充を目指す。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	久米島町中学生交流事業	事業期間	平成 24 ~ 年度
担当部署・係名	社会教育課 子どもへのまなざし運動・若者支援推進室	担当課長名	馬郡 裕子
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	25家庭・地域・企業等の教育力の向上	
	基本事業	子ども・若者の健全育成	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	久米島町と佐賀市の中学生が夏季に佐賀市から久米島町を、冬季には久米島町から佐賀市を訪れて交流し、異なる双方の歴史や文化等への理解を深める。同時に、佐賀の偉人である第11代齋藤用之助の久米島や沖縄本島での功績を学び、郷土に対する誇りを持つ心を育む。また、交流生がコミュニケーション能力を高めることで、自信と責任感の育成を図る。
事業の対象者	佐賀市内の中学1年生
令和2年度主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・H31年度 事業対象者数2,139人 参加人数16人 交流日数6日 ・R 2年度 事業対象者数2,122人 ※R 2年度事業中止

決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない

区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	—				
うち佐賀市の負担額	—				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
参加前より自分に自信がついたと思う参加者の割合						%
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R6 目標	
—	100	100	100	100	100	

成果指標②						単位
団体行動の約束を守った、自覚ある行動ができたと思う参加者の割合						%
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R6 目標	
—	100	100	100	100	100	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
<ul style="list-style-type: none"> ・事業開始より毎年、成果目標については100%と目標値に達している。 ・令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、中止となったが、実施に向けて関係各所との調整を図る。 ・また、引き続き、本交流を通じ、参加者自らが自信を深め、責任感や社会性を身につけることができるような事前研修や交流プログラム等の検証を行う。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	市民総参加子ども育成運動経費	事業期間	平成 18 ~ 年度
担当部署・係名	社会教育課 子どもへのまなざし運動・若者支援推進室	担当課長名	馬郡 裕子
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	25家庭・地域・企業等の教育力の向上	
	基本事業	「子どもへのまなざし運動」の推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	子どもが社会において保障されるべき様々な権利の尊重に努め、すべての大人が子どもの育成に関心を持ち、かつ、主体的に関わる社会を構築することを目的とした市民運動を展開する。「家庭」「地域」「企業等」「学校等」を4つの場として位置づけ、それぞれの役割を明確にした上で、行政も含めた連携、協働を図りながら子どもの育成に努める。				
事業の対象者	全ての市民				
令和2年度主な活動実績	○市民総参加子ども育成運動推進委員会の開催（全体会1回、4分科会各1回、合同分科会1回） ○広める事業：グッズ等（のぼり旗、ポロシャツほか）による視覚的啓発、「まなざしアーチ」を使った聴覚的啓発 ○紹介する事業：運動実践者紹介番組「まなざし放送局」、「つながるさがし」等のSNS情報発信 ○ほめる事業：まなざしキラリ賞の表彰（まなざし運動推進大会で表彰式を開催） ○運動参加企業：764社（令和3年3月末）				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	8,780				
うち佐賀市の負担額	7,092				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
地域で青少年健全育成に取り組んでいると感じる市民の割合						%
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R6 実績	
30.3	32	34	36	38		

成果指標②						単位
地域の方は、子どもの教育に関わっていると感じる市民の割合						%
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R6 実績	
55.5	58	60	62	64		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍における運動の推進については、SNS等を利用する世代に的を絞った周知の考案などを行う。 ・「自分がやっていることがまなざし運動である」ことに気づききっかけづくりのため、今までとは違った観点の啓発を図る。 ・大人だけでなく子どもに対しての啓発にも力を入れ、新しい運動の担い手を育成する。 ・子どもを育む4つの場の更なる連携を図り、継続的な取り組みと併せて効果的な周知・啓発に努め、市全体の運動として広める。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	青少年向け短期講座開催事業	事業期間	平成 9 ~ 令和 2 年度
担当部署・係名	社会教育課 子どもへのまなざし運動・若者支援推進室	担当課長名	馬郡 裕子
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	25家庭・地域・企業等の教育力の向上	
	基本事業	子ども・若者の健全育成	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	子どもたちが、体験活動を通じて他人への思いやりや優しさ、協調性を学び、心身ともに健全な青少年へと成長することを目的とする。青少年センターを活用し、各種講座を開催。				
事業の対象者	市内小学校児童				
令和2年度主な活動実績	卓球教室（令和2年10月17日～11月21日、全6回、毎週土曜日午前中開催） 受講者16名				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	137				
うち佐賀市の負担額	137				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
参加者の満足度						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
93.75%						

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
新型コロナウイルス感染症の影響で、料理教室や卓球教室等の各種講座は、3密回避が非常に困難で令和2年度は予定していた事業の殆どができず、令和3年度以降は事業を休止する。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	金立教育キャンプ場事業	事業期間	昭和 55 ~ 年度
担当部署・係名	社会教育課 総務企画係	担当課長名	馬郡 裕子
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	26自ら学ぶ生涯学習の推進	
	基本事業	生涯学習施設の整備・運営	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	自然の中での共同生活を通じて、社会性、創造性、自然を愛する心を養うことによる青少年の健全育成を目的としている。場長（管理人）を配置し、施設の維持・管理及び施設・備品等の整備、貸し出し、野外活動の指導等の業務を行う。 【施設概要】テントサイト（30区画）、炊飯棟、調理棟、研修棟、多目的広場ほか				
事業の対象者	主に佐賀市民				
令和2年度 主な活動実績	金立教育キャンプ場の利用者数及び開場日数 利用者数：12,289人 開場日数：295日				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,587				
うち佐賀市の負担額	1,587				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
施設利用者数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
12,289	13,000	13,000	13,000	13,000	

成果指標②					単位
市内利用者数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
9,889	10,500	10,500	10,500	10,500	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
新型コロナウイルス感染症によりキャンプ(野外活動)の需要が多くなってきているため、安全かつ快適に利用できる施設を目指す。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	非行防止対策事業	事業期間	昭和 39 ~ 令和 年度
担当部署・係名	社会教育課 子どもへのまなざし運動・若者支援推進室	担当課長名	馬郡 裕子
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	25家庭・地域・企業等の教育力の向上	
	基本事業	子ども・若者の健全育成	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	青少年センターに専任補導員3名を配置し、佐賀駅周辺及び市内の青少年が多く集まる施設、店舗、公園等を日々巡回し、必要に応じてルールやマナーなどの指導を行う。併せて、市内全域の26校区・地区ごとに少年育成委員（127名）を委嘱し、月4回の巡回指導を実施することで、少年の問題行動の早期発見、早期指導に繋げ、少年の非行や犯罪を未然に防止する。				
事業の対象者	少年（市内6歳から18歳までの在学学生及び有職・無職少年）				
令和2年度主な活動実績	専任補導員による平日午前・午後の大型店舗等の巡回指導と、各校区・地区での少年育成委員による月4回の巡回指導を実施。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	14,929				
うち佐賀市の負担額	14,929				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
非行・不良行為に関する指導件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
12	10	10	10	10		

成果指標②						単位
ルール・マナーに関する指導件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
1,651	1,600	1,550	1,500	1,450		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
学校や警察等との連携により少年の問題行動の実態を把握し、巡回ルートや時間帯等を工夫することによって、効果的な巡回指導を行う。特に令和2年度から、新型コロナウイルス感染対策による学校内での生徒間のコミュニケーション不足が原因と思われる、中・高校生の「自転車運転並進・右側通行」の指導件数が急増しているため、学校や関係機関と連携を図りながら指導を行う。また、研修会等によって専任補導員と少年育成委員の資質向上や情報共有を図る。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	子ども・若者支援事業	事業期間	平成 28 ~ 令和 年度
担当部署・係名	社会教育課 子どもへのまなざし運動・若者支援推進室	担当課長名	馬郡 裕子
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	25家庭・地域・企業等の教育力の向上	
	基本事業	子ども・若者の健全育成	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀市内のニート、ひきこもり、不登校等、社会的に自立した生活が送れないことや、社会生活上の対人関係に悩む子ども・若者やその家族を対象として、電話や面談による相談支援を実施する。また、就労や、就学に結びつくことを目指した適応支援プログラムや講座、教室等を開催し、社会的に自立した生活が可能となる支援を行う。				
事業の対象者	佐賀市に居住する40歳未満の者とその家族				
令和2年度主な活動実績	佐賀市青少年センターに相談支援員を配置し、ニート、ひきこもり、不登校等の問題を抱える子ども・若者やその家族からの相談に対応する。相談の結果により、必要がある場合は、訪問支援を行う。また、支援対象者や家族を対象とした適応支援プログラムや講座・教室等を開催する。 令和2年度は相談支援員1名体制で支援対象者239名に対し事業を実施し、本人やその家族の来所・電話・訪問相談支援の総数は2,853件。				
決算の推移(単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	6,285				
うち佐賀市の負担額	6,285				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
改善状況調査人数						人
R2 実績	R3 目標実績	R4 目標実績	R5 目標実績	R6 目標実績		
224	250	275	300	325		

成果指標②						単位
状況が改善した人数						人
R2 実績	R3 目標実績	R4 目標実績	R5 目標実績	R6 目標実績		
178	200	220	240	260		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
事業の性質上、ほとんどのケースで長期的な支援が必要なことから、継続支援を含む支援対象者数は年々増加し、必然的に訪問相談支援件数も年々増加しているため、相談支援体制を再検討する必要がある。 * 訪問支援相談件数 396件 (R1) ⇒ 453件 (R2)

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	佐賀市成人式	事業期間	昭和 40 ~	年度
担当部署・係名	社会教育課 子どもへのまなざし運動・若者支援推進室	担当課長名	馬郡 裕子	
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち		
	施策	25家庭・地域・企業等の教育力の向上		
	基本事業	子ども・若者の健全育成		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀市成人式は、その年度に20歳を迎える方を対象に、毎年1月、「成人の日」の前日の日曜日に開催している。令和2年度は旧市町村ごとの8カ所10会場で開催。				
事業の対象者	佐賀市の住民基本台帳記載や外国人登録の有無に関わらず、当該年度に20歳を迎える者				
令和2年度 主な活動実績	平成12年4月2日から平成13年4月1日生まれの方を対象に、市内8カ所10会場で成人式を開催した ＜新型コロナウイルス感染症対策＞ ・会場における3密対策（時間短縮、各会場収容率50%以下） ・感染症発生時の追跡対策（案内状兼入場券の回収、接触確認アプリCOCOAのインストール促進） ・佐賀会場大ホールの様子をライブ配信、アーカイブ配信 など				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	5,677				
うち佐賀市の 負担額	5,677				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
成人式参加者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
1,809	1,800	1,800	1,800	1,800		

成果指標②						単位
令和2年度内ユーチューブ再生回数						回
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
5,129	6,000	6,000	6,000	6,000		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
新型コロナウイルス感染症が流行する前までは、参加率を成果と捉えていたが、今後はリモート参加も成果と捉え、ユーチューブ再生回数も成果とする。成果目標達成に向けては、ホームページや案内状送付時にユーチューブ配信の広報をすることで、リモートと併せて参加者数の増を図る。